

園長	主任	担当

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友だちと関わりながら園生活のリズムを取り戻す。</li> <li>・伝承遊びや行事に興味を持ち、保育者や友だちと一緒に楽しむ。</li> <li>・友だちや保育者と関わる中で互いの思いを伝え合いやり取りを楽しむ。</li> </ul>	先月の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でしようとしている。</li> <li>・絵本の内容での劇ごっこなど、なりきることを楽しんでいた。</li> <li>・戸外で簡単なルールのある遊びを通して、友だちや保育者と関わり遊んでいる。</li> <li>・遊びのイメージを伝え合い、友だち同士でごっこ遊びをする。</li> <li>・外用の上着を着るようになり、難しいところは友だち同士や保育者に伝えようとしている。</li> </ul>	行事	<p>9日 新年こども会 17日 身体測定 25日 避難訓練</p>
内容		環境構成		保育者の援助及び配慮	
養護 ○生命・情緒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い・うがい・衣服の調節など冬の生活習慣を身につける。</li> <li>・冬の衛生管理に留意し、一人一人が快適に過ごせるようにする。</li> <li>・年下の子どもへ優しい気持ちで接しようとする。</li> <li>・生活リズムを整え、安心して過ごす。</li> <li>・気の合う友達と安定した気持ちで遊べるように配慮していく。</li> <li>・自分の気持ちを表現できる環境の中で、相手の気持ちにも少しずつ耳を傾けていけるようにする。</li> <li>・自分なりの表現や、友だちと一緒に取り組むことを喜べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うがい用のコップを準備する。</li> <li>・室内の温度をこまめに確認する。加湿・空気清浄機を使用する。</li> <li>・散歩など、一緒に行える活動を計画する。</li> <li>・一人一人とゆったりとかかわる時間をつくる。</li> <li>・子どもの心の変化に気付けるように見守る。</li> <li>・子ども同士の関わり合いを保育者が把握できるようにする。</li> <li>・楽器遊びや劇ごっこなど表現を見せ合える時間を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けと同時に保育者が見本となるように手洗いやうがいを行う。</li> <li>・室内の温度管理、また子どもの体調もよく把握しておく。</li> <li>・関わりで緊張を感じられた際には、側に寄り添い、楽しめるように声かけしていく。</li> <li>・支度など、思い出せるように声を掛けていく。</li> <li>・自分でできるところは見守っていくようにする。</li> <li>・子どもの心の変化や思いを見逃さないように見守る。</li> <li>・言葉で伝えようとする姿を認めていく。状況に応じて仲立ちして見守る。</li> <li>・友だちと一緒に楽しんでいく様子を認めたり、保育者も活動を楽しむようにする。</li> </ul>		
教育 ○健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上着の着脱や片づけを自分でしようとする。</li> <li>・手洗いやうがいをすることに自分で気付き、意欲的に行う。</li> <li>・寒さの中でも戸外で元気に体を動かしながら遊ぶ。</li> <li>・保育者や友達と一緒に簡単なルールのある遊びを楽しむ。</li> <li>・気の合う友だちと好きな遊びを繰り返し遊ぶことで、一緒にいる心地よさを味わう。</li> <li>・伝承遊びに興味を持ち、異年齢の子どもや保育者と楽しむ。</li> <li>・冬の自然に興味を持ち、触れたり感動したりする。</li> <li>・チューリップの生長に関心を持ち、水やりをしようとする。</li> <li>・のり、セロハンテープ、ハサミなどの安全で正しい使い方を知る。</li> <li>・保育者に見守られながら、友達や保育者に自分の思いを伝える。</li> <li>・季節の歌を、歌詞を知りながら楽しんで歌う。(お正月 ゆき)</li> <li>・友だちや保育者と、図鑑や冬の絵本を楽しむ。</li> <li>・体や言葉で表現する楽しさを味わう。</li> <li>・節分の由来を知り、興味を持って制作を行う。(三方、鬼のお面)</li> <li>・折り紙で様々な物を折り指先を使う。</li> <li>・物語の役になりきり、劇遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上着掛けは子どもが掛けやすいものを準備する。</li> <li>・うがい用のコップを水道近くに置いておく。</li> <li>・戸外で体を思い切り動かせるよう、散歩なども計画する。</li> <li>・集団でできる簡単なルールの遊びを計画する。</li> <li>・同じ机に気の合う友だちがいるなど、関係が深まる環境を作る。</li> <li>・コマや凧を作ったり、準備をする。</li> <li>・散歩先に持っていける図鑑やカップ、袋を準備しておく。</li> <li>・戸外遊びで子どもたちが気付いたり観察しやすい所に花壇を置く。</li> <li>・ハサミなど危険がある場合には、近くで保育者が見守る。</li> <li>・子ども同士の関わりを見守れるよう職員を配置する。</li> <li>・ラジカセ、CD、楽譜を準備しておく。</li> <li>・様々な種類で読みやすい図鑑を準備しておく。</li> <li>・リズムや劇あそびができる音楽や楽譜、絵本を準備する。</li> <li>・制作物の材料を人数分準備しておく。</li> <li>・折り紙を様々な色、大きさと枚数を準備する。</li> <li>・劇あそび用のCDや、楽譜を準備する。役になりきれようなものも準備しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分でやってみようとする姿を認めていく。できない所は、保育者が少し援助し、自分でできたという気持ちに寄り添う。</li> <li>・手洗いや、うがいの意味を伝えていく。また、保育者が見本となるように声を掛けていく。</li> <li>・体を動かして楽しめる遊びができるように誘ったり一緒に楽しんでいく。</li> <li>・ルールが難しい場合には、寄り添うなど不安なく集団遊びを楽しめるように見守る。</li> <li>・友だち同士でじっくりと遊べるような時間を作っていく。子どもたちで展開していく見守るようになる。</li> <li>・お正月ならではの遊びを保育者も一緒に楽しんでいく。年上の子どもを見本として声をかけていく。</li> <li>・子どもの気付きや驚きに共感していく。じっくりと観察したり疑問に思う様子に寄り添うようにする。</li> <li>・生長と一緒に喜んでいく。水の量も子どもと一緒に考えながら行うようにする。</li> <li>・少しずつ慣れていけるように声を掛けていく。苦手な子どもも安心してできるようになる。</li> <li>・思いを言葉にして伝えようとする姿を認めていくようにする。仲立ちすることや伝える喜びを感じられるようにしていく。</li> <li>・楽しい雰囲気の中で歌が歌えるように声を掛けていく。</li> <li>・文字などわかりづらいところがあっても楽しめるように側で見守ったり保育者も援助したりしていく。</li> <li>・自分なりに表現を楽しむ姿や身体を動かして楽しいという思いに共感していく。</li> <li>・完成と一緒に喜んでいく。子どもの思いを聞いていくようにする。</li> <li>・難しい箇所や細かいところは、少し手伝いながらも自分で作った達成感を感じていく。</li> <li>・全員が同じ参加の仕方でも、その子なりの参加の仕方や楽しみ方を認めるようにする。</li> </ul>		
食育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お正月の食事に関心を持つ(おせちや、七草がゆなど)</li> <li>・食具を正しく使って食べる。</li> <li>・自分で作ったり、作ったものを友だちと食べる楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おせちや七草がゆについての絵本や紙芝居を準備する。</li> <li>・食具の使い方を、絵や保育者の見本で見せる。</li> <li>・食育や簡単なクッキングを計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが関心を持てるよう楽しい雰囲気や話をしていく。</li> <li>・子どもが気付けるような声掛けをしていく。また、保育者も見本として持ち方には気を付けていく。</li> <li>・楽しみにできるような声掛けをしていく。子どもと一緒に楽しんで参加していく。</li> </ul>		
家庭・地域との連携		保健・安全		月の反省と自己評価	
感染症が流行する時期なので、予防のための手洗い・うがいの必要性を伝え、体調が悪くなったら早めの受診を進める。年末年始での家庭の様子を聞く中で不規則になっている時は、早寝早起きの生活リズムを整えられるように伝える。		冬の感染症が流行する時期なので、日中の子ども様子を家庭に連絡する。また、手洗い・うがいの大切さを伝えていく。			



任

こする。

かく。  
どもと

切してい

る。

する。  
つていく遊

こ真似る等

子に寄り添

る。  
るように寄

こで思いが

目が読むの

く。

つられるよ

かていくよ

となるよ

で

